なつかしの国 石見

石見地域の概要書

IWAMI DIGEST
2019.3 vol.2





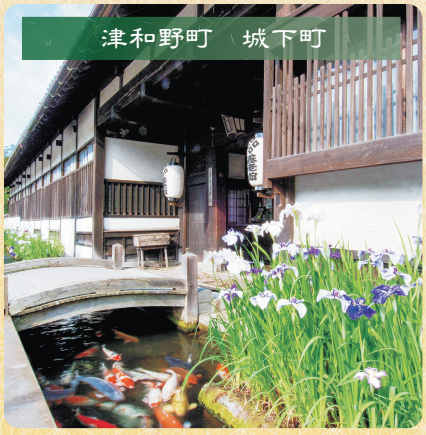








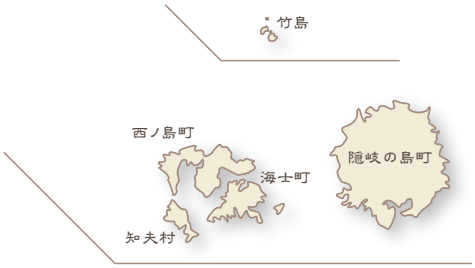






島根県西部県民センター

石見（いわみ）とは



地 勢

石見地域は、4市5町から構成されており、東西に約140kmと長く、県境を南は広島県と西は山口県と接しています。



「石見」とは、島根県西部の総称です。

『石見』という名前の由来は、荒き波が崖にうちよせるところであるから「石海（いはうみ）」、すなわち「いはみ」になったという説があります（諸説あり）。

面 積

石見地域の総面積は、3,579.99㎢で、県総面積の約53.4%を占めています。

人 口

石見地域の人口は、189,703人（平成31年1月1日現在）で、県全体の約28%です。

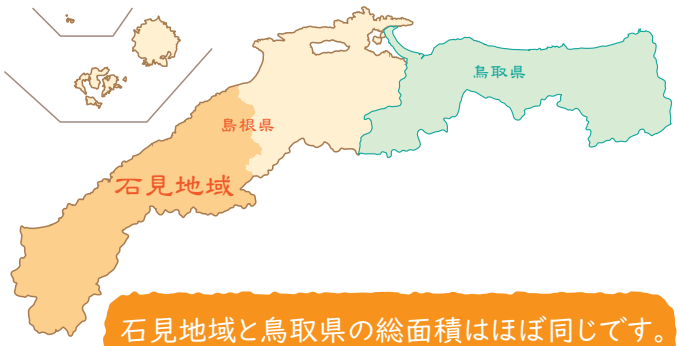
平成31年1月1日現在

	計	男	女
島　根　県	678,664	327,320	351,344
石 見 地 域	**189,703**	**90,920**	**98,783**
浜　田　市	55,594	27,564	28,030
益　田　市	45,813	21,580	24,233
大　田　市	33,284	15,842	17,442
江　津　市	23,518	11,012	12,506
川　本　町	3,151	1,475	1,676
美　郷　町	4,499	2,128	2,371
邑　南　町	10,551	5,056	5,495
津 和 野 町	7,151	3,339	3,812
吉　賀　町	6,142	2,924	3,218

※この推計人口は、平成27年国勢調査の確定値をもとにして、その後、毎月実施している「島根県人口移動調査」の結果によって加減したもの。

気 候

石見地域は、日本海側気候に属し比較的温和な気候です。沿岸部においては、冬期の平均気温が東京都心や大阪市とほとんど同じで温暖であり、降水も雨が多く大雪になることは少ないです。内陸部においては、冬は寒さが厳しく、標高が高いところでは、積雪が1m程度になる地域もあります。



石見地域と鳥取県の総面積はほぼ同じです。

	石 見 地 域	鳥　取　県
面積	3,579.99㎢	3,507.13㎢
人口	189,703人	559,701人
人口密度	53.0人／㎢	159.6人／㎢

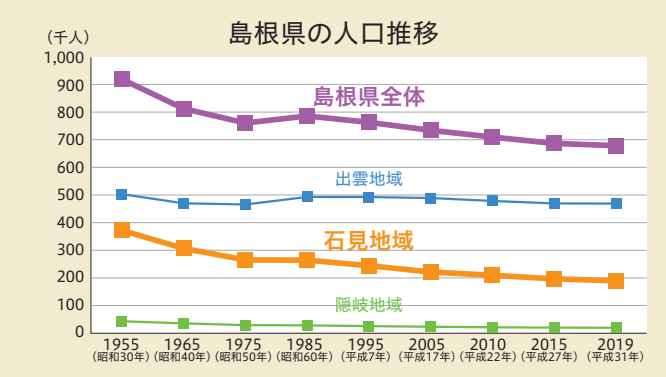
※人口は、平成31年1月1日現在の推計人口。

石見の現状

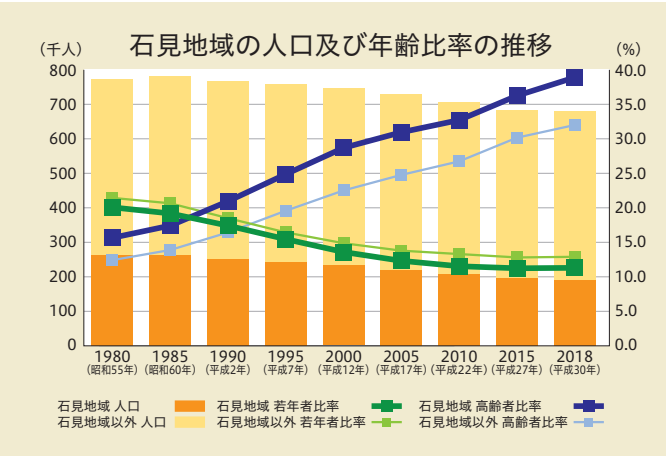
現 状

石見地域では、人口減少及び少子高齢化の進行が顕著に現れています。島根県全体と石見地域の人口は、同じような推移となっており、島根県の人口減少は特に石見地域で進んでいるといえます。

また、石見地域では、少子高齢化も進行しており、昭和60年頃には高齢者（65歳以上）比率が若年者（15歳未満）比率を上回り、石見地域以外（出雲地域と隠岐地域）より約5年早い推移となっています。



※資料「国勢調査人口」
※2019は、1月1日現在の数値で平成27年度国勢調査の確定値をもとにして、その後、毎月実施している「島根県人口移動調査」の結果によって加減したもの。



課 題

人口減少及び少子高齢化が進んでいる石見地域の課題は様々です。具体的には、人口減少に伴う空き家や耕作放棄地の増加、生活交通、買い物機能の低下、少子化に伴う小中学校の統合、高齢化に伴う集落の地域活動の担い手不足などがあります。

取組み

人口減少や少子高齢化が進行する中、今暮らしている地域に安心して暮らし続けることができるような仕組みづくりに取組む**『小さな拠点づくり』**を推進しています。住民同士の話し合いを通じて、買い物支援や自治会輸送など様々な取組みを行う地域が出てきています。

また、石見地域では、田舎体験や地元の人との交流を楽しみ、農山漁村や地域経済の活性化、農山漁村への移住のきっかけにしてもらおうという**『しまね田舎ツーリズム』**の活動も盛んに行われています。

地元の人の家に泊まり、交流ができる「民泊」施設もあります！

他にも、西部県民センターでは、地域に愛着と誇りを持つ人材の育成及び地域コミュニティ活動の振興を目的として、平成25年度から順次小学生から大学生までが行う地域活動への支援を行っています。

石見地域の市町等が、過疎地域自立活性化優良事例表彰で、3年連続総務大臣賞を受賞しています！







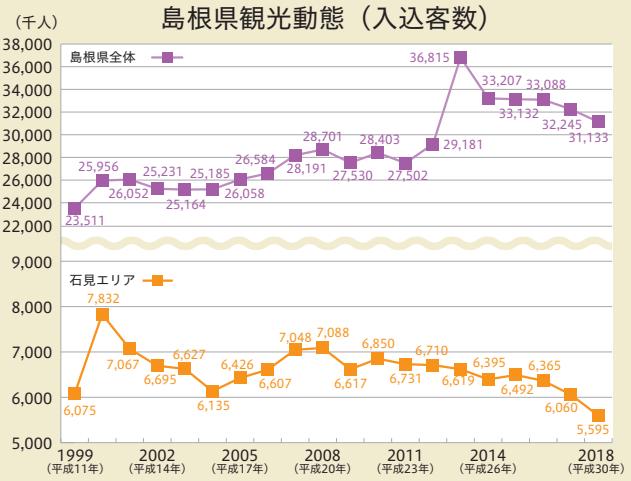
石見の観光

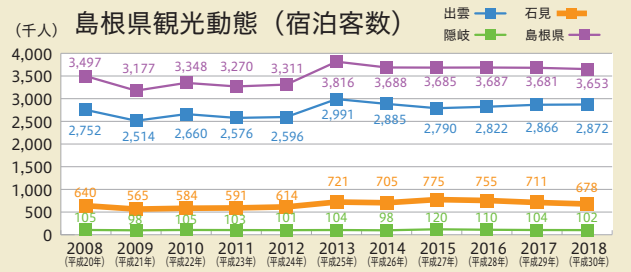
観光の現状

主な観光地としては、世界遺産石見銀山、国立公園三瓶山、しまね海洋館アクアス、グラントワ、津和野などがあります。約30ある温泉は、各々種々な泉質をもち、古くからの湯治場もあります。また、伝統芸能「石見神楽」は130を超える団体で受け継がれています。

平成 29 年度、石見神楽がミシュラン
グリーンガイドで一つ星を獲得しました！

入込客数は、平成12年のアクアス開館、19年の石見銀山世界遺産登録により一時的に増えましたが、減少傾向となっています。宿泊客数は、近年70万人前後で推移しています。





※2018年は速報値

観光の課題

石見地域の観光素材は比較的規模が小さく、また、広域に点在することから移動手段・時間の面で課題があります。また、各観光地の認知度が低く、単独では目的地となりにくい状況です。また、冬の入込客数の増加対策なども課題で、こうしたことから、更なる情報発信と魅力アップに取組む必要があります。

観光の取組み

情報発信のターゲットとしては、広島をはじめとする中四国のほか、萩・石見空港を活用し、首都圏も対象に加え、認知度を上げるためウェブサイトの充実やガイドブックの配布などに取組んでいます。

特に、首都圏での石見神楽の認知度を上げるため、石見神楽に特化したウェブサイトの立ち上げや雑誌を活用した PR などの「石見神楽ブランディング事業」や東京2020オリンピック・パラリンピックを機会とし世界に発信できるよう取組んでいます。

一方、地元では年間を通じて石見神楽に触れられるよう、週末の定期公演や、宿泊団体客向けの出張上演を行っています。また、豊富な食材を活かしたメニュー開発や「幻の鉄道遺産広浜鉄道」「衣毘須神社」など新たな素材の掘り起こし、タクシーやレンタカーなど二次交通の充実に向けた取組みも行っています。

山陰のモン・サン・ミシェルと
言われています！







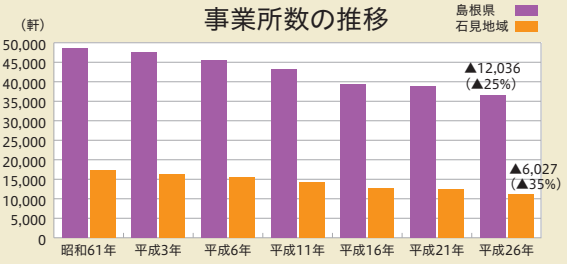
石見の産業

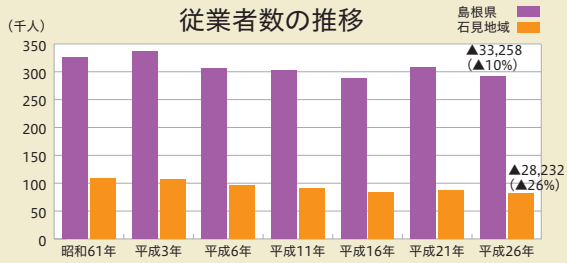
産業の現状

石見地域で生産される石州瓦は、1,200℃以上と非常に高い温度で焼かれるため、瓦自体が焼締まって、塩害に強く、耐久性が高いという特徴があります！

日本三大瓦の一つでもある**石州瓦**や豊かな地域資源を活かした食料品製造業など、以前から地域の主要な産業であったものに加え、近年はエネルギー関連の企業の進出が見られるなど新しい流れも生まれています。また、県内唯一の国際貿易港である浜田港や、萩・石見空港、高速交通網も着々と整備されており、域内企業のさらなる活躍が期待されます。

しかし、少子高齢化に伴い、経営者の高齢化、産業の担い手の減少が進んでおり、事業所数、従業者数の減少が続いています。特に石見地域は昭和61年から平成26年にかけて、事業所数が35%、従業者数が26%と島根県全域での数値に比べ大きな減少率となっています。

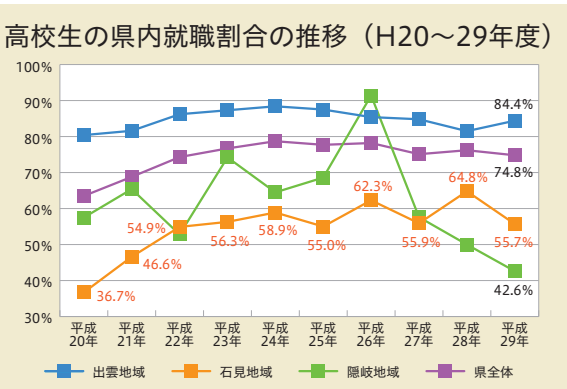




(出典) 経済センサス

産業の課題

石見地域の商工団体等が行った調査によると、経営状態が良好であるにもかかわらず、後継者が不在のため、廃業の意向を示す事業者が多く見受けられ、地域の商業機能の低下や雇用の場の減少が懸念されています。それと同時に高校生の県外流出により、企業の人材確保が困難になり、企業活動の支障となっています。



(出典)学校基本調査報告(島根県教育委員会)

産業の取組み

各市町が事業承継協議会を設立し、円滑な事業承継に向けた情報共有・施策検討を行っています。さらに事業承継を機に新事業に取り組む企業に対する支援を行っています。

そのほかにも、店舗の開店や移動販売を行う事業者に対する支援や県内初の伴走型広報支援事業として新商品の合同プレス発表会も実施しています。

また、地元の高校生、保護者、教職員を対象に、地元企業を知ってもらうためのセミナーや企業見学バスツアーなど、より多くの若者が石見に住み、働くことを目指した取り組みや、企業の人事担当者等を対象に、先進的な取組みを行っている**県外企業**への訪問ツアーなどを行っています。







人を大切にする経営学会主催の「日本で一番大切にしたい会社」大賞などを受賞した企業を訪問しています!

石見マップ



萩・石見空港

1993（平成5年）年7月に開港し、現在、羽田発着枠政策コンテストにより、東京（羽田）線が2往復4便就航しています。また、大阪（伊丹）線も1往復2便が期間運航します。

〒698-0051
島根県益田市内田町イ597
運用時間／8:00～19:30
TEL:0856-24-0002
（島根県益田県土整備事務所石見空港管理所）
http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/port/kikan/masuda_kendo/iwamikukokanri/



浜田港

韓国釜山との国際定期コンテナ船が就航するなど、重要港湾や日本海側拠点港（原木）にも選定されている「島根県唯一の国際貿易港」です。また、クルーズ客船の寄港もあります。

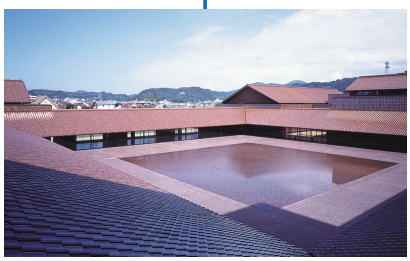
〒697-0062
島根県浜田市熱田町2135-2
TEL:0855-27-0088
（島根県浜田港湾振興センター）
http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakokanri/



島根県立しまね海洋館アクアス

2000（平成12年）年に開館した、浜田市と江津市にまたがる水族館です。西日本では唯一シロイルカを見ることができるほか、約400種1万点の海の生き物を展示しています。

〒697-0004
島根県浜田市久代町1117番地2
開館時間／9:00～17:00
休 館 日／毎週火曜日（祝日の場合、その翌日）
※開館時間や休館日は、時期によって変更になる場合があります。
TEL:0855-28-3900
https://www.aquas.or.jp



島根県芸術文化センター「グラントワ」

2005（平成17年）年に開館した「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。石見地域の芸術文化拠点として、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会が提供されています。

〒698-0022
島根県益田市有明町5-15
TEL:0856-31-1860（グラントワ代表）
TEL:0856-31-1871
（総合案内カウンター（チケット対応窓口））
http://www.grandtoit.jp/

島根県立大学 浜田キャンパス

国際短期大学を前身とし、2000年(平成12年)に石見地域唯一の4年制大学として開学しました。現在は、総合政策学部と大学院（北東アジア開発研究科）が設置されています。

〒697-0016
島根県浜田市野原町2433-2
TEL:0855-24-2200
http://hamada.u-shimane.ac.jp/





石見銀山遺跡（世界文化遺産）

16世紀から20世紀にかけて採掘から製錬まで行われた鉱山や坑道のみならず、鉱山町、街道、港・港町といった多様な資産で構成されています。また、「石見銀山遺跡とその文化的景観」は、2007(平成19年)年7月、世界文化遺産に登録されました。

〒694-0305
島根県大田市大森町
TEL0852-22-5642、6127
（島根県教育庁文化財課 世界遺産室）
http://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/bunkazai/ginzan/



島根県立三瓶自然館サヒメル

三瓶山を中心に島根の自然に関する展示が充実した自然系博物館です。化石や動物のはく製など大地の歴史を満喫できる展示のほか、天文台やプラネタリウムも備え、子どもから大人まで幅広く楽しめます。

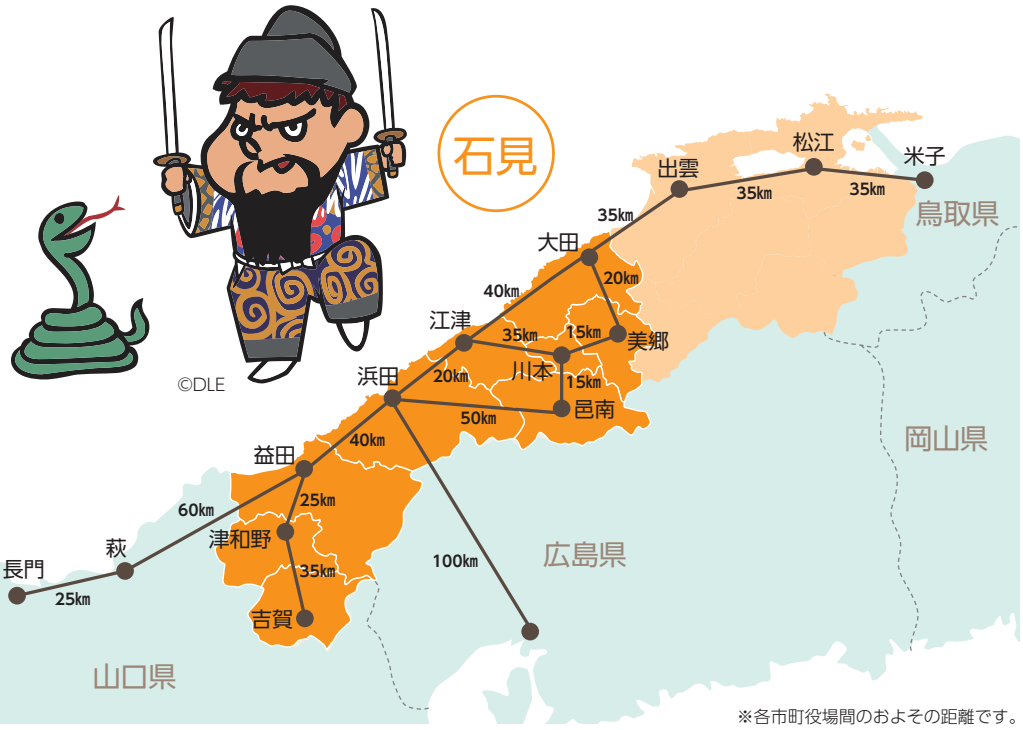
〒694-0003
島根県大田市三瓶町多根 1121-8
開館時間／9：30～17：00
休 館 日／毎週火曜日
（祝日の場合は、その翌日）
※開館時間や休館日は、時期によって変更になる場合があります。
TEL：0854-86-0500（企画情報課）
http://www.nature-sanbe.jp



廃線となった三江線に変わり、平成30年4月から代替バスが運行され新たな移動手段として利用されています。

高速道路（供用区間）
高速道路（未供用区間）
幹線道路
ＪＲ
三江線（平成30年3月31日廃線）





※各市町役場間のおよその距離です。



石見地域には、幻の鉄道遺産『広浜鉄道』があります。昭和8年に着工されたものの、戦争や国鉄の慢性的赤字経営の影響により工事が中止され、未成線となりましたが、路盤、橋梁、橋脚、トンネル等の遺構は現在もなお当時の姿をとどめています。



匹見わさび



うずめ飯



三瓶そば



江津まる姫ポーク



えごま



高津川の鮎



どんちっち三魚
（ノドグロ・カレイ・アジ）



おおち山くじら



石見和牛肉

島根県西部県民センター

〒697-0041 島根県浜田市片庭町 254 番地
TEL：0855-29-5502・5511（地域振興課）
TEL：0855-29-5647（観光振興課）
TEL：0855-29-5649（商工振興課）
FAX：0855-22-5306
http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_kemmin/

西部県民センター　検 索